

日本経済の課題と解決

土浦第一高等学校 2班

2年A組 神鳥凜音 染谷菜々美

指導教諭 宮代篤先生 岡部真二先生

【要旨】

日本経済が多くの課題を抱えている今日、我々は日本経済を物価や収入の動向から分析し、より新しい解決策を見出すことを目的に探究活動に精進した。そこで日本経済の特徴として、物価の上昇、賃金デフレを把握した。それらの問題の解決策として3つのことを提案したい。

- ・日本国民全体が物価高騰をメリットと捉えること。
- ・企業のインフレ手当支給を促すこと
- ・企業や政府で年功序列制や終身雇用制の有無について議論すること

日本は経済面でその他多くの課題を抱えているので、細かい部分もより深く追求し、これからの探究活動を深めていきたい。

Issues and Solutions for the Japanese Economy

Tsuchiura First High School Group 2

Kandori Rion Someya Nanami

Supervisor: Miyasiro Atusi Okabe Shinji

【要旨】

There are many problems in the Japanese economy these days. We focused on analyzing the changes in prices and the average annual income trying to find solutions to these problems.

What we would like to propose as solutions are as follows:

Regarding high prices as something positive. Urging enterprises to pay inflation allowance to their employees. Discuss the pros and cons of salary raises based on seniority and the lifetime employment system in Japanese society.

【研究動機】

世の中の流れを作っているのはお金だと言っても過言ではないほど金融の状況が私達に生活に根ざしている今日、日本では物価高収入減の問題を抱えていることに気づき、原因と解決策の追求の必要性を感じたから。

【目的】

日本経済の課題を物価と収入の関係性から洗い出し、見つけた課題に対して最適な解決策を導き出す。

【調査方法】

茨城県立土浦第一高等学校の高校 1、2 年生を対象に、日本経済に対する意識調査を目的に、アンケートを実施した。また物価の動向、特に日用品について把握することを目的に、株式会社つくばセンターの方に、文書調査を行った。その後、燃料の高騰が著しいことに重点を置き、

東北電力株式会社の従業員の方とオンラインミーティングを行い、日本の燃料問題について、詳しく教わった。

その他補助資料として、学校図書館や、インターネットを利用した。

【本論】

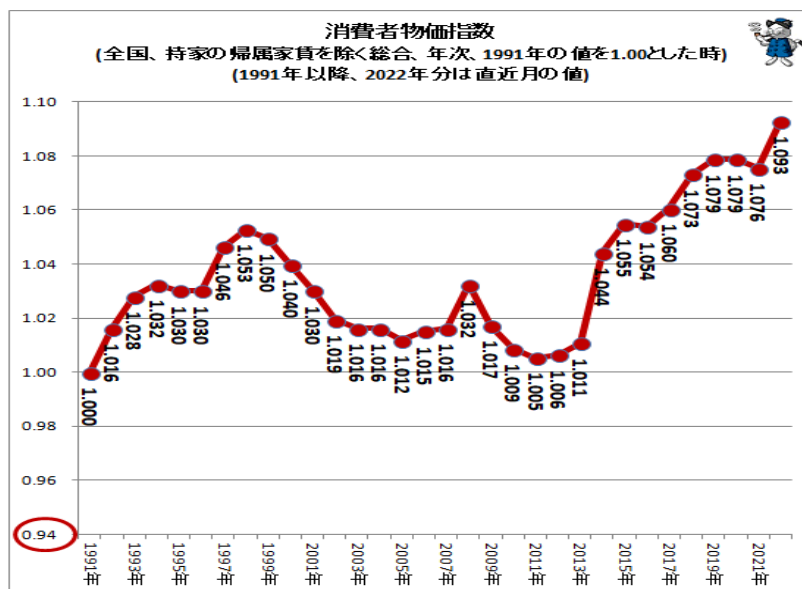
・物価について

物価の変動をよく理解するため、最初に消費者物価指数に着目した。消費者物価指数とは、ある基準となる物価を **100** としてその後の物価を比較した数値だ。消費者物価指数はグラフ 1 から分かる通り、**20** 年前より遥かに高くなっている。

消費者物価指数が増加していることを受けて、具体的に消費されているものを調べて、物価の上昇とその原因について調べようと思った。そこで東北電力にアポを取り、オンラインの会議を行った。グラフ 2 はその時いただいたものだ。私達は石炭の価格の変化を表している紫の線に注目した。東北電力のグラフから分かる通り、石炭価格は、**34.118 円/KL** から **73.345 円/KL** と、一年前の価格の **2 倍** となっている。この原因はロシアのウクライナ侵攻と考えられる。日本は、石炭、石油、LNG と、燃料の採取率がほぼ **0%** である。そのため他の国への燃料の輸入に頼る必要がある。しかし、今日の世界情勢を見てみると、ドイツ、イタリア、フランス、イギリスといった欧米諸国が、ロシアのウクライナ侵攻の抑止力としてロシア炭の輸入を世界的に禁じている。このことが石炭価格の高騰につながる。

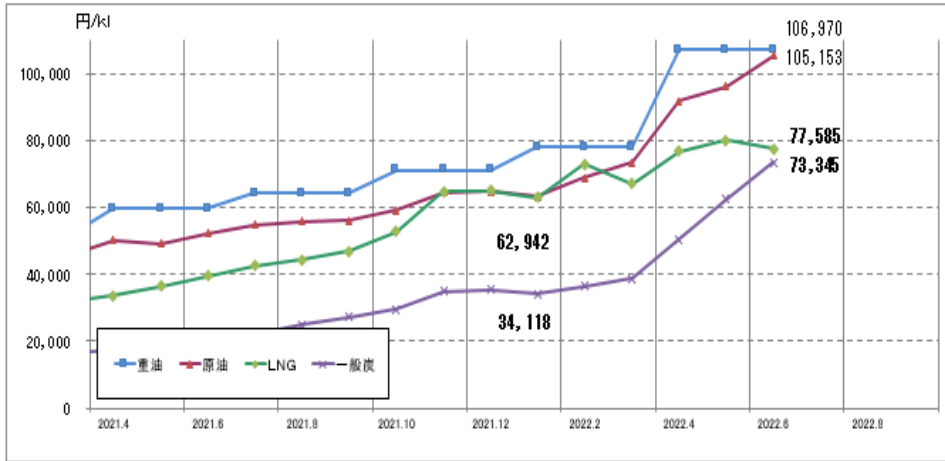
こういった物価高騰の問題は燃料だけにはとどまらず、食品にも同じことが言える。私達はつくばセンターカスミに食品の価格変動について尋ねるために手紙を送った。その返事によると、今日の世界情勢に影響を受けやすい食品は油脂製品と小麦製品だという。

今回は深く掘り下げなかったが、服、漫画、化粧品、カバンなど、価格が高騰している商品はたくさんある。つまり日本は価格の高騰という大きな問題に直面している。私達はインフレーションの最中にいるのである。



グラフ 1

(参考) 重油換算単価の推移

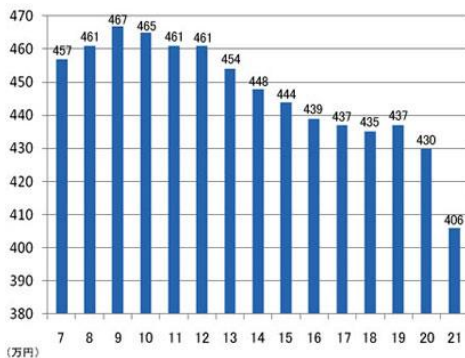


・各燃料の通関CIF価格を重油の熱量にて換算

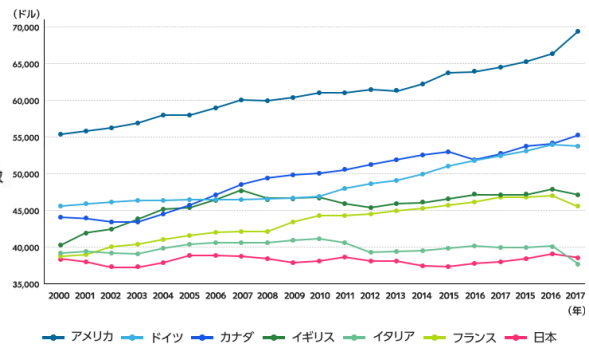
グラフ 2

・収入について

グラフ 3 から分かる通り、日本の平均年収は 10 年に渡って下がり続けている。更に悪いことにグラフ 4 より他の先進工業国と比べると、日本の平均収入は相対的に低い。低収入の問題は日本経済が抱える大きな問題の一つだということがわかる。



グラフ 3



グラフ 4

日本は物価は高いが、収入が低い国だと言することができる。

日本経済をより良くするために 3 つのことを提案したい。

- ・皆が物価の高騰を利点と捉える
- ・会社がインフレ手当を支給する。その際、政府が何らかの補助を行う
- ・年功序列制度や終身雇用制を廃止する

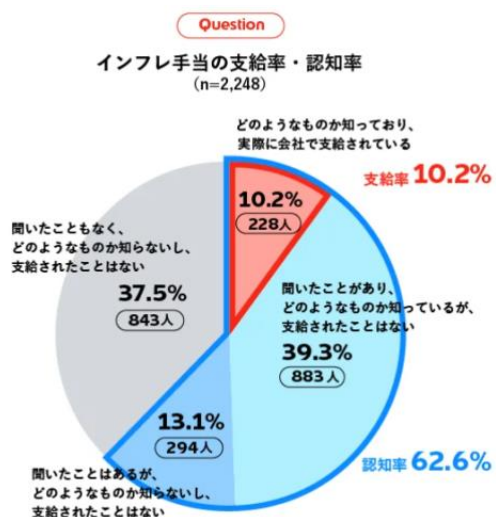
まず物価高騰の利点について、物価が高騰することで、人々は物価がさらに高騰する前に購入しなければという焦燥にかられ、人々の購買力は増す。それによって日本経済の景気は良くなると見込まれる。しかし、日本は先進国と比べて収入が低いので、収入を上げることが最優先事項であると考えた。現在、物価騰貴や新型コロナウイルスの影響で、上昇する生活費に困る多くの労働者が見受けられる。

そこで、今現在多くの企業で、検討されているインフレ手当を薦めたい。

三菱自動車など大手企業は既に実行している場合も多いが、現状インフレ手当は認知度も低く、インフレ手当の支給率は約 10%である。... (4) その原因として政府の補助不足があると考えられる。実際、インフレ手当が最善の解決策とは言えないし、そのあり方や政府による補助についても考える必要があるので、状況の変化に応じて熟考したい。

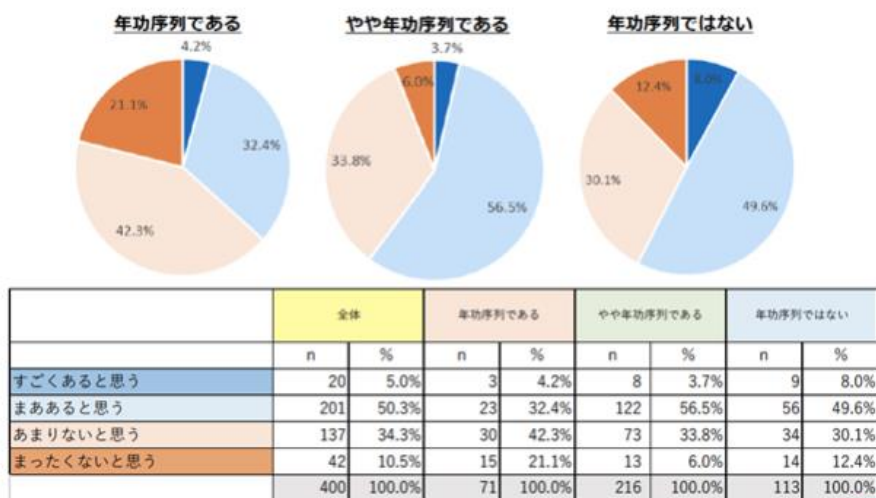
我々は年功序列制や終身雇用制に疑問を持った。年功序列制や終身雇用制によって、一般的に収入は安定するため、従業員の仕事に対する創造性は低迷し、また新しいことを取り入れることを避ける傾向にあるのではないかと考えた。... (5) ただし伝統産業や特殊な事業において「伝統を受け継ぐ」という点で、年功序列制や終身雇用制にもいくつかの利点があるので、職種によって年功序列制・終身雇用制の有無を検討していきたい。

最終的な見解として、経済に関する解決策を考えるには多くの事柄を考慮し、数多くの知識や教養が必要不可欠なので、情報収集を続け、経済の動向を確認しながら、探究し続けることが大事である。



...(4)

あなたの会社にはやりがいを持って働ける環境があると思いますか？（単数回答）



...(5)

【今後の課題】

日本経済はその他の点でも、多くの問題を抱えている。例えば少子高齢化による労働者不足や長時間労働、値上がりする光熱費や日用品など。それらの課題も視野に入れ、より洗練された解決策を提案していきたい。

【謝辞】

東北電力株式会社の皆様には、仙台におけるフィールドワーク調査に際して多くの協力を頂きました。また株式会社カスミつくば本店の皆様には県内フィールドワーク調査に際して多くの協力を頂きました。

アンケートにご協力くださいました土浦第一高等学校の皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。

【参考文献】

<https://www.fournotes.co.jp/jinjinews/index.php/2023/01/25/175/>

<https://magazine.aruhi-corp.co.jp/0000-5836/>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC295010Z21C22A1000000/>

<https://toyokeizai.net/articles/-/631152?page=4>

https://www.dodadsj.com/content/200317_seniority/

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/kaigi/dai3/shiryou1.pdf

東北電力株式会社

株式会社カスミつくばセンター